科目名	経営学総論Ｂ　Business administration introduction B						
科目担当者	柚原 知明　YUHARA Tomoaki						
単位数	2	配当年次	1年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	経営学部・経営学科［専門教育科目　基礎専門科目］ 法学部・法律学科［専門教育科目　関連科目］					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	・本授業の概要は，「行動科学と統合理論(Follet, Likert, Argylis, Maslow, McGregor, Herzberg)」「近代管理論からコンティンジェンシー理論」「経営戦略論」「基本的な組織形態」「さまざまな組織形態」「人事管理とリーダーシップ」「日本的経営論」等に関わる基礎理論について解説を行う。また, 基礎理論の解説をベースとするが，DX(デジタル・トランスフォーメーション)等の最先端の技術革新を活用した先鋭的な領域やグローバル経営にも触れながら，基礎理論と具体的な事例の解説を行う。						
授業の到達目標	①　経営学の歴史的な発展過程を踏まえ現代社会において中心的役割を果たしている企業組織に焦点を当て，その基本構造や事業活動を巡る基礎的な諸理論について理解出来る。 ②　その際，初学者でも分かりやすいように具体的な実例を挙げながらの解説に対して，経営学の基礎的な諸理論の理解を踏まえて社会科学に対する深く“考える力”の涵養を図る。						

授業計画・内容・授業外学修		
	1	ガイダンス
	2	行動科学と統合理論(Follet の理論)
	3	行動科学と統合理論(Likert の理論)
	4	行動科学と統合理論(Argylis の理論)
	5	行動科学と統合理論(Maslow の理論)
	6	行動科学と統合理論(McGregor の理論)
	7	行動科学と統合理論(Herzberg の理論)
	8	近代管理論からコンティンジェンシー理論(C.I. Barnard の組織論)
	9	近代管理論からコンティンジェンシー理論(Burns& Stalker, Woodward, Lawrence& Lorsch, etc の各理論)
	10	経営戦略論(発展の歴史的変遷，競争戦略)
	11	経営戦略論(経営戦略の策定)
	12	基本的な組織形態
	13	さまざまな組織形態
	14	人事管理とリーダーシップ，日本的経営論
	15	まとめ

授業外学修 (事前学修)	・毎回の授業の範囲をテキスト等の熟読で予習し，理論の内容や専門用語の意味等を調べる(毎週 2 時間程度)。
授業外学修 (事後学修)	・毎回の授業後の内容をテキストや配布したスライド等で復習し，理論の内容や専門用語の理解を深める(毎週 2 時間程度)。

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	・定期試験(レポート対応の場合を含む)	100%	①

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	・井原久光〔2008〕『テキスト経営学[第 3 版]』ミネルヴァ書房。
参考文献	・加護野忠男・吉村典久編〔2006〕『1 からの経営学』中央経済社。
その他	※この科目は、民間企業の勤務経験を有する教員が実務経験を踏まえて経営戦略論、日本的経営論等に関わる基礎理論について授業を行います。